

第8回“女性農業者のための 農業経営基礎セミナーin札幌”

～農業経営の課題を見出し、解決への第1歩を！～

北海道の農業は、北海道経済を支える主要産業ですが、様々な環境変化の中にあり、多くの農家で何らかの課題を抱えているのではないのでしょうか。

このセミナーでは、特に女性農業者の皆さまの立場から見える課題や悩みに対し、まずは「経営」に関する基本的な事項を理解することにより、自らの農業経営の課題を見つめなおし、解決への第1歩につなげることを目指しています。また、同じく農業に取り組む女性同士のネットワークづくり」に繋がり、元気になれる好評のセミナーです。

過去の開催でも、参加者の多くの皆さまが新たな取り組みへの挑戦に繋がっています。是非ご参加ください。

日 程 : 1回目(前半) 平成31年1月15日(火)～16日(水)

2回目(後半) 平成31年2月12日(火)～13日(水)

会 場 : 中小企業基盤整備機構北海道本部 大会議室

(札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE札幌ビル6階)

受講定員 : 20名(先着順)

受講料 : 無料(但し、交流会については参加任意の会費制)

受講対象者: 農業経営を支える女性の皆様(経営者又は経営者の妻など経営に携わっている方、後継者や新規就農の方) ※農業法人経営・家族経営を問いません。

カリキュラム(前半)

※ 適宜休憩が入ります。

月日	時間	科目	内容	講師(敬称略)
1/15 (火)	12:50～13:00	開講式	オリエンテーション	
	13:00～14:00	アイスブレイク	◆自己紹介 ◆セミナー参加の動機・目的は何ですか	苫小牧駒澤大学 国際文化学部 准教授 田崎悦子
	14:00～16:00	魅力ある職場づくり	農業における「魅力ある職場には何が必要か」 「魅力ある職場をつくるために何をすべきか」考えてみましょう。 ◆あなたの職場の現状はどうですか ◆魅力ある職場とはどんなところだと思いますか ◆どうすれば魅力ある職場になると思いますか ☆グループ討議等	苫小牧駒澤大学 国際文化学部 准教授 田崎悦子
	16:00～17:30	農業経営における労務管理	良い人材に長く働いて貰うためには労働環境を整えることが重要です。農業経営における労務管理の特色や留意事項について学びます。 ◆農業現場の現状と課題 ◆農業における労働関係の法令、制度 ◆事業承継 業経営の基礎としての農業、資金繰りについて理解していただきます	辻コンサルティング・オフィス 代表 辻 亨 (中小企業診断士)
	18:00～20:00	交流会	受講者同士の懇親と情報交換	
1/16 (水)	9:00～12:00	農業経営における財務管理	農業簿記の基礎を理解し、財務管理の必要性と効果について学びます。 ◆クミカン頼りで井勘定になっていませんか? ◆簿記のしくみと仕訳の方法 ◆決算書から診える経営内容	辻コンサルティング・オフィス 代表 辻 亨 (中小企業診断士)
	13:00～15:30	職場づくりのためのコミュニケーション術	楽しい職場づくりのためのコミュニケーションの重要性について、学びます。 ◆コミュニケーション術とリーダーシップ ☆ゲームを通して、理解を深めます。 ◆従業員等への教え方・対応の仕方のコツ	苫小牧駒澤大学 国際文化学部准教授 田崎悦子
	15:30～16:00	まとめ	◆前半のまとめ ◆財務・労務における課題の解決策について(宿題)	苫小牧駒澤大学 国際文化学部 准教授 田崎悦子

カリキュラム（後半）

月日	時間	科目	内容	講師（敬称略）
2/12 (火)	13:00～14:30	職場の課題解決に向けて	前半の講義を受けて、インターバル期間中に課題解決のために何を実行しましたか、何か変わりましたか。 ◆課題の解決に向けた行動を振り返って考える。	苫小牧駒澤大学 国際文化学部 准教授 田崎悦子
	14:30～15:30	【事例研究】人が好き、農業が好き。（仮称）	先駆者の足跡から学びます。（発表と意見交換） ◆自慢のフルーツトマトを中心に、商品化やジェラートの店、さらに、農泊等、楽しみながら次々と挑戦を続けている様子をご紹介します。	(有)清水農園 取締役 清水英子 (第7期修了)
	15:30～17:00	スマート農業の基礎知識	農業の課題解決と付加価値向上に期待されている「スマート農業」。その現状と可能性を理解し、自らの経営に活かすことができるかを考えます。 ◆今、どこまでできるスマート農業 ◆スマート農業を経営に活かすために必要なこととは	(株)スマートリンク北海道 常務取締役 小林 伸行
	17:00～17:30	中小機構と農業	中小機構北海道の農業者支援のご案内	
	18:00～20:00	交流会	受講者同士の懇親と情報交換（第6回までの修了生も参加します。）	
2/13 (水)	9:00～12:00	商品開発の基礎	付加価値向上を図り、売れる商品づくりについて、学びます。 ◆商品開発の目的 ◆商品開発において押さえておくべきポイント ◆商品づくりの手順	野菜ソムリエ上級Pro. 6次産業化プランナー 萬谷利久子
	13:00～15:00	農業経営を考える	このセミナーを通じて見えてきた農業の課題に対し、2～3者の方の事例を掘り下げ、解決に向けた処方箋を示していきます。農業経営において何が考える必要があるかのヒントを学びます。 ◆自らの農業経営と課題の本質を見直し、対応策を明らかにする ※事例対象者は、前半のまとめの際に募集します。対象の方には、講師が事前訪問し、ヒアリング及び現場調査をさせていただきます。	(株)GB産業化設計 代表取締役 岩井 宏文
	15:00～16:00	研修を終えて	この研修において気づいたことや今後の課題についてまとめます。 ◆この研修で何を得て、これから何に取り組みますか ◆まとめ	苫小牧駒澤大学 国際文化学部 准教授 田崎悦子
	16:00～16:10	閉講式		

※前後半（延4日間）とも参加いただくことを前提としたカリキュラムとなっておりますので、併せてご参加ください。
※カリキュラムについては、変更する場合があります。

《主な講師のご紹介》

■田崎 悦子（たさき えつこ）苫小牧駒澤大学国際文化学部 准教授。

数多くの企業で人材育成の指導・コンサルティングに携わり、大阪教育大学キャリア支援副センター長等の教職を歴任。専門は、キャリアデザイン、キャリア教育、人材育成・人材開発、北海道の地域づくり（観光・食・ツーリズム）等。また、新規就農者のキャリア形成に関する研究等、農業に深く関わる。本セミナーの第1回よりメイン講師を務め、受講生からも高い信頼と評価を得ている。北海道大好き人間を自認。

■辻 亨（つじ とおる）辻コンサルティング・オフィス代表。

中小企業診断士。農業経営アドバイザー、農業改良普及員資格。農協職員として30年にわたり経営改善支援や農業振興施策の実務に携わる。その後独立し、農業経営の改善支援（財務分析・技術分析）、投資計画策定支援、地域の農業振興計画の樹立と実践（国・道の各種補助事業の活用）、新規就農者への支援（農地制度等の各種制度活用）等）に実績を有する。農業支援組織（酪農ヘルパー、コントラクター、共同農業法人等）の設立・運営にも携わる。

■岩井 宏文（いわい ひろふみ）(株)GB産業化設計 代表取締役。

仙台市出身。北海道大学大学院卒業後、現(株)ドーンコン入社。(株)北海道農業企業化研究所を経て、2011年にGB産業組織設計を設立し、同年10月に現社名に変更。北海道の農業の現場を飛び回り、北海道農業の高い潜在力を活かした、これまでにない新たなビジネスフィールドをともに考え、「しくみ」を設計・構築している。新たな農業ビジネスの開発や農業経営の改善、6次産業化等への取り組みに実績を有する。

■萬谷 利久子（ばんや りくこ）北海道6次産業化プランナー・野菜ソムリエ上級Pro

2009年に「シニア野菜ソムリエ」を取得し、日本野菜ソムリエ協会の講師に。同協会認定「青果物ブランディングマイスター」として農産物のマーケティングを行う。2012年より、6次産業化プランナーとなり、生産者の商品開発や農産物のブランディングなど食を中心とする地域づくりに携わる。北海道大学大学院・国際メディア観光学院DMO育成プログラムを終了し、デスティネーションマネージャーの認定を受け、「観光×農業」のサポートも行っている。

■清水 英子（しみず えいこ）(株)清水農園 取締役

壮瞥町にて畑作を営む。こだわりのフルーツトマトを中心に、美味しくて安全な野菜を提供するため、「土づくり」と「水」にこだわり、低農薬、減化学肥料で栽培。トマトジュースなどの商品化のほか、ジェラートの店も開店。さらに、そば打ちや農泊等にも挑戦。TV {「人生の楽園」等} や雑誌でも取り上げられている。

■小林 伸行（こばやし のぶゆき）(株)スマートリンク北海道 常務取締役。

北海道大学大学院農学研究院修了。農業生産・流通に係る技術開発に従事し、地理空間情報流通整備、宇宙政策、スマート農業に係る各種法制度委員、実証実験に携わる。酪農学園大学特任研究員。総務省北海道総合通信局「ロボット農業の高度化のための技術的条件等に係る調査検討会」委員。

受講のお申し込み

下欄の受講申込書に必要事項をご記入の上、FAX（011-210-7480）にてお申込み下さい。

◎申込みは、平成31年1月8日（火）まで受け付けます。（但し、先着順で、定員に達した場合は早期に締め切る場合があります。）

受講申込書

中小機構北海道 人材支援課（FAX（011-210-7480）） 行

平成 年 月 日

セミナー名	第8回「女性農業者のための農業経営基礎セミナーin札幌」 ～ 農業経営の課題を見出し、解決への第1歩を！ ～		
ご住所	〒 - 電話（ ） - / FAX（ ） - e-mail :		
ふりがな		年齢	歳
受講者氏名		役職等	
農園名等		主な生産物	
経営の規模	①畑作（ ha） ②稲作（ ha） ③花卉（ ha） ④果樹（ ha） ⑤酪農（ 頭） ⑥畜産（ 頭） ⑦その他[]（ ）		
本研修に期待すること (自由記入)			

(注) 個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させていただきます。当該個人情報の第三者（業務委託先を除く）への提供または開示はいたしません。

但し、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

◇交流会について

交流会については、申込受付後改めてご案内いたします。農業経営に頑張る女性同士の交流は大きな力にもなりますので、是非ご参加いただきたいと存じます。但し、会費制となりますので、あらかじめご了承ください。



《お申し込み・お問い合わせ先》

中小機構北海道

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部
人材支援課 担当：杉森

札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE札幌ビル6階
TEL: 011-210-7475 FAX: 011-210-7480

中小機構北海道とは

国の中小企業施策の実施機関で、北海道農業の経営強化や高付加価値化の支援も行っております。また、中小機構北海道が運営する「中小企業大学校旭川校」では企業の人材育成のための様々な研修を行っております。

中小企業大学校旭川校：旭川市緑が丘東3条2丁目2-1
TEL 0166-65-1200

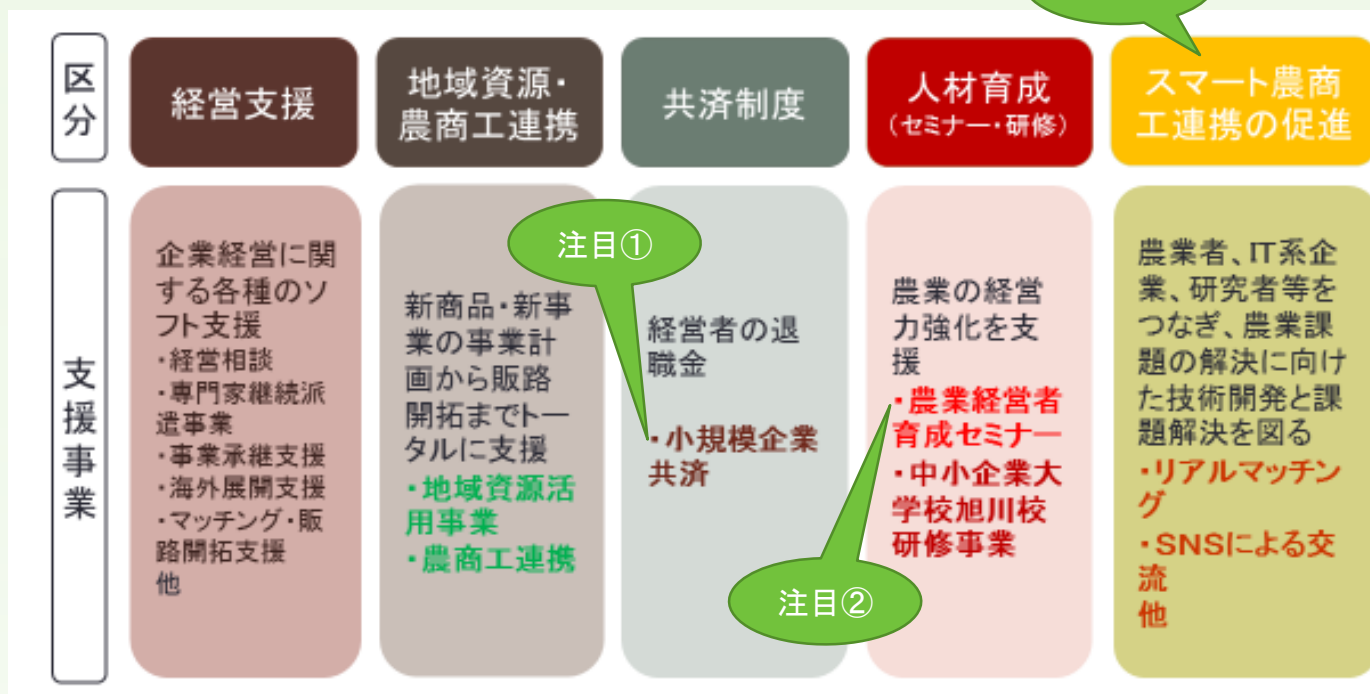
北海道農業の更なる発展を応援します！

《参考》

【中小機構北海道の農業者支援について】

1. 概要

注目③



注目①

注目②

2. 注目ポイント

①小規模企業共済

小規模企業の個人事業主又は会社等の役員の方が事業をやめられたり退職された場合に、生活の安定や事業の再建を図るための資金を予め準備しておく制度です。

- 【特色】**
- 税制面での大きなメリット
 - ◎ 毎月の掛金が全額所得控除
 - ◎ 受取り共済金は退職所得扱い(一括) 公的年金等の雑所得扱い(分割)
 - 無理のない掛金
月額1,000円～70,000円(500円単位)の範囲で自由に選択可。
 - 共同経営者の方も加入可能(2名まで)。

②農業経営者育成に関するセミナー

北海道農業の経営力強化や付加価値向上等に資するセミナー・研修を実施しています。

- (例) ・「女性農業者のための農業経営基礎セミナーin札幌」
 ・「十勝地域農業者合同研修」
 ・「新農業プロジェクト創出セミナー」
 ・「支援担当者のための農業経営セミナー」 等

※過去に実施したのですが、現在は実施していない場合があります。



③『スマート農商工連携』の促進

スマート農商工連携とは、IT系の技術を活用した農業生産のスマート化を始め、素材の高付加価値化、ECによる販路拡大等を含め、農業者と商工事業者が連携してより付加価値の高い事業を推進することであり、中小機構北海道はその繋ぎ役を果たすべく、セミナーやマッチングイベント、SNS上の交流促進等の事業を実施してます。

- (例) ・「スマート農商工連携マッチングセミナー」
 ・「スマート農商工連携Café in 北大BS」
 ・「スマート農商工連携SNSコミュニティ」(FB)



★SNSコミュニティへのアクセスはこちらから

